

# ふるさとに生きる Vol.33

= みんなでつくる人権尊重のまち =



## 目

- ひと  
壁を越えるイラストをめざして …… 1~2
- おも  
部落差別の解消をめざして …… 3~4
- かべ  
部落差別の現状と課題  
(部落差別の実態に係る調査を参考に) …… 5~6
- じんけん  
子どもと人権  
こども食堂《みんなの城》の取組 …… 7~8
- せかいへいわ  
世界平和 …… 9~10
- ひろしま  
広島に立つ
- がいこくじん  
外国人と人権  
互いの違いを認め合い、誰もが住みやすい  
まちづくり

## 次

- 小・中学校の取組 ..... 11~12  
ありがとうウイーク  
～ありがとうをひろめよう～(別所小学校)  
自ら学ぶ力を育て、自分を大切にし、相手の  
人格を尊重し、共に成長していくこうとする生  
徒の育成 (自由が丘中学校)
- じゅうがい  
人権啓発DVDの紹介 ..... 13  
「バースデイ」の紹介
- じゅうさい  
ワークシート ..... 14  
やさしい日本語ワンポイント講座

\* だれもが胸を張ってふるさとを名のりたい。心ふれあうふるさとにしたい。  
启発資料「ふるさとに生きる」は、この願いを込めて命名されました。

# かべ こ 壁を越えるイラストをめざして

イラストライター コミュニケーションデザイナー こゆり

## え か 絵描きさんになりたい



ちい  
ころ  
え  
か  
す  
なに  
え  
たずさ  
仕事がしたいとずっと思っていました。短大の時に憧  
かいがい  
え  
ほん  
さつ  
か  
ざつ  
し  
き  
じ  
よ  
あえずデザイナーになろう!と、大阪のデザイン事務所  
しゅう  
しょく  
げん  
さい  
つう  
に就職し、現在はデザインを通じてイラストやキャラク  
ターデザインなどをつくるお仕事に携わっています。

## し 知るきっかけづくり

も  
じ  
か  
よ  
で  
も、  
え  
め  
はい  
き  
よ  
も  
る、  
や  
わ  
り  
も  
わたし  
え  
か  
描  
か  
し  
し  
描きなので、知るきっかけづくりをイラストで易しく  
ひょうげん  
おも  
表現したいと思っています。

ねん  
しゅ  
わ  
なら  
さき  
ちゅう  
かく  
しょう  
ひと  
こ  
どく  
こま  
となどを知ることができました。手話ができなくても、そんな人たちがいることに気づき寄り



### 手話と一緒に覚える十二支 ねこどしなぜない?



えとぶん こゆり

ひと  
おも  
しゅ  
わ  
し  
せい  
さく  
ほん  
ほん  
せ  
い  
た  
よ  
う  
せ  
い  
し  
え  
ほん  
せ  
い  
さく  
しつ  
ご  
しょ  
う  
れ  
ん  
さい  
さ  
ま  
ざ  
ま  
か  
つ  
か  
い  
う  
い  
よ  
そ  
ち  
から  
ひ  
ろ  
て  
つ  
だ  
んからだはおんな」の制作や失語症のことを知ってもらうマ  
ンガ「ダーリンはかわいい失語症」の連載など、様々なマイ  
ノリティを受け入れ、寄り添うことのできる社会をめざす活  
動を、イラストの力で広めるお手伝いをしています。

## え　か　　こころざし 絵を描くときの志

わたし　え　か　　こころざし　め　み  
私の絵を描くときの志は、目に見えるもの  
も見えないものも全ての壁をなくし、世界  
じゅう　ひと　びど　き　も  
中の人々をやさしい気持ちにすることです。

かべ　ごう　いん　かべ  
この「壁をなくし」というのは、強引に壁を  
ぶつ壊すのではなく、私が壁に絵を描くことで、壁を見る人が増え、「壁」そのものの存在に気  
づき、その先を知ろうと壁に向き合って、道ができ、大きな隔たりが自然と崩れていき、  
壁という形が別のものに変わっていく…。私が絵を描いていくことは、壁を知るきっかけづ  
くりとなる、そんな役目をもっていると思っています。正しいよりも、やさしくありたい。



## み　き　し　　おも 三木市への想い



こう　こう　そつぎょう　ご　み　き　し　はな　きょう　と　おお　さか　せい　かつ  
高校を卒業後、三木市を離れ、京都、大阪で生活していましたが、2010年、三木市立堀光美術館で展覧会をさせていた  
み　き　し　し　ごと　ふ  
だいたことをきっかけに、三木市でのお仕事も増えてきました。  
せい　さく　じ　じ　ぶん　あし　み　き　し　かん　こう  
みきマルまるマップの制作時には、自分の足で三木市の観光  
めい　しょ　ある　しゅ　ざい　か　あらた　み　き　れき  
名所を歩き、取材レポートを書くことで、改めて三木のまちは歴  
し　じょう　ちょ　あふ　でん　とう　こう　げい　のう　さく　もつ　ほう　ふ　うつく　し　ぜん  
史情緒溢れ、伝統工芸もあり、農作物も豊富で、美しい自然に  
かこ　ほん　どう　す　ば　ほこ  
囲まれた本当に素晴らしいまちだと誇りに  
おも　ばん　しゅう　み　き　う　ち　は　もの　さか　まい  
思いました。播州三木打刃物、酒米  
やま　だ　にしき  
山田錦、ゴルフ、ハーブ、いちご、



れき　し　じん　ぶつ　み　き　し  
あじさい、歴史人物など、三木市のかわいいオリジナル  
ルキャラクターとともに、大好きなふるさと三木市  
のことを、これからもイラストを通じて全国にアピールしていきます。

## プロフィール

み　き　ちゅう　がっ　こう　み　き　こう　どう　がっ　こう　へ　せい　あん　ぞう　け　いた　ん　き　だ　い　が　く　せん　こう　そ　つ　ぎ　よ　う　げ　ん　ざ　い  
三木中学校、三木高等学校を経て、成安造形短期大学グラフィックデザイン専攻を卒業。現在は  
菊澤デザイン事務所を運営。2012年から兵庫県三木市の「ふるさと三木応援大使」に就任。三  
木市の広報、土産企画など参画。2019年より三木ロータリークラブの協力のもと、三木市的小学  
こう　じ　さく　しゅ　わ　どう　に　ゆ　え　ほん　き　ぞう　け　い　ぞく  
校に自作の手話導入絵本「ねこどしなぜない?」の寄贈を継続。HPアドレス:<https://koyuri.jp>

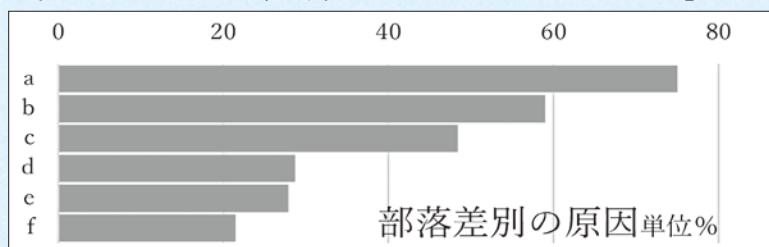
# ぶらくさべつ げんじょう かだい 部落差別の現状と課題

(部落差別の実態に係る調査を参考に) 法務省2018年実施)

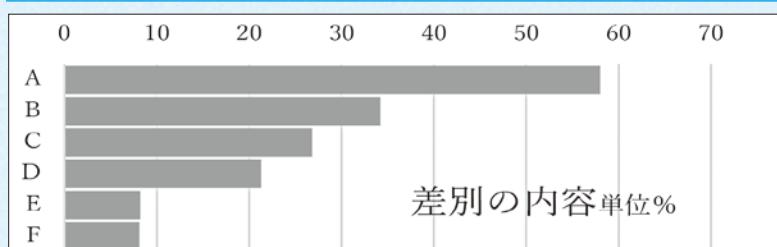
## 部落差別は今もあるの?

2016年に公布された「部落差別の解消の推進に関する法律」(以下、部落差別解消法)の6条において部落差別の実態に係る調査を行うことが規定されており、法務省はこれに基づく調査結果を2020年6月に公表しました。「現在でも部落差別はあると思うか」の問い合わせに対して、73.4%の人があると回答しています。

また、「部落差別の原因」については、aからfが上位を占めており、「昔からの偏見」や「部落差別に関する正しい知識を持っていない人がいるから」との回答が50%を超えていました。

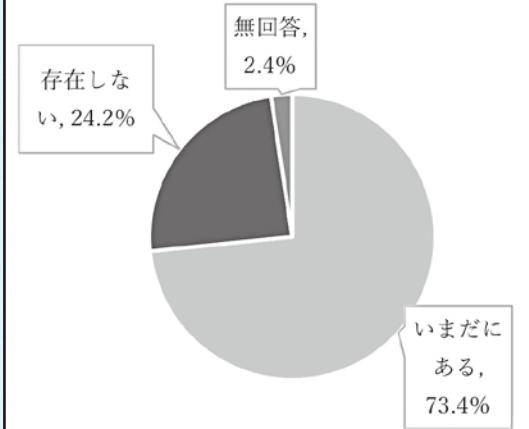


- a 昔からの偏見や差別意識をそのまま受け止める人が多いから
  - b 部落差別に関する正しい知識を持っていない人がいるから
  - c 地域社会や家庭において偏見が植えつけられることがあるから
  - d 落書きやインターネット上で差別を助長する人がいるから
  - eこれまでの教育や啓発が十分でなかったから
  - f「同和は怖い」という意識がまだ残っているから
- (複数回答可、上位)



- A 結婚や交際
  - B 悪口
  - C 就職や職場
  - D 旧同和地区の公表
  - E 戸籍
  - F インターネット上の書き込み
- (複数回答可、上位)

現在でも部落差別はあると思うか



また、部落差別の被害または加害経験(親族・知人を含む)があると答えた「差別の内容」については、依然と結婚や交際に差別があるとの回答が58%となっており、2022年内閣府が実施した人権擁護に関する世論調査でも、体験したことや身の回りで見聞きしたことで、部落差別だと思ったことは、結婚や交際に反対されることが40%を超え1位となっています。身近な問題として降りかかった時に差別意識が明らかになる結果だと考えます。

みな けっか おも  
皆さんは、この結果をどう思われますか?

グラフ出典:法務省

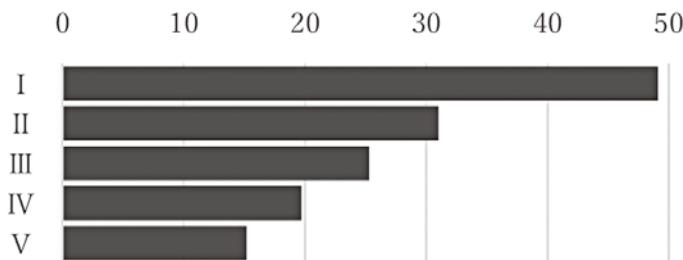
「部落差別の実態に係る調査結果報告書」⇒



# 部落差別の解消は、人権尊重社会の基盤との位置づけを!

どうすれば部落差別を解消できるのでしょうか?

部落差別解消の効果的な対策単位%



- I 教育・啓発・相談体制の充実などの施策
- II テレビや新聞などがもっと問題を取り上げる
- III 職場や地域社会でみんなが話し合えるような環境を作っていく
- IV 自然になくなるのを待つ
- V 被害者の救済を図る  
(複数回答可、上位)

「部落差別解消の効果的な対策」においては、教育・啓発・相談体制の充実が上位を占めています。しかし残念ながら、「自然になくなるのを待つ」との後ろ向きな回答が20%程度あります。また、どのようにしても差別はなくならない、効果的なものはないとの回答もあります。

教育や啓発の必要性を回答された人が多いにも関わらず、研修会等に参加したことがない人の割合が約80%を占めている現状です。いかに無関心な人が多いかの結果ともいえると思

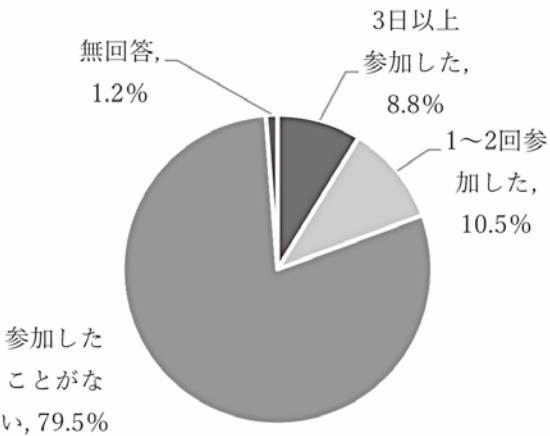
います。

身分廃止令（解放令）から150年、水平社創立から100年が過ぎた現在においても、言われなき部落差別の現状が明らかとなっています。また、部落差別解消法においては、インターネット上の部落差別を温存・助長する書き込みや、同和地区をさらす動画の掲載が問題とされ、インターネット上の差別書き込みをなくす取組が行われています。三木市においては、2019年6月からインターネットモニタリング事業が開始され、部落問い合わせや、同和地区への誹謗中傷が認められた場合は、削除要請に努めています。

現在の多岐にわたる人権課題解消の取組は、部落差別の解消に向けた取組が基盤となっています。部落差別を解消するため、住民学習や隣保館事業などに一人一人が積極的に参加し、自身の人権感覚を再確認し、部落問題を他人事ではなく自分自身の問題と捉え、意見交流を進めていきましょう。

今年度三木市では「人権に関する市民意識調査」を行います。  
ご協力ををお願いいたします。

啓発の経験（研修会など）



# こども食堂《みんなの》



## ★きっかけ

私は元々NPO法人播州三木城保存会という、三木市に昔のようなお城を復活させるという団体で活動をしていました。

2020年秋、小野市でNPO法人ばかりが集まる会議があり、参加しました。その会で、加東市でこども食堂を運営されている<NPO法人ペイ

フォワード>副理事長による講話がありました。

「月曜の朝にお箸を持って、『先生、ごはんまだですか?』って言っている子どもがいて、聞くと『金曜の給食から何も食べていない』とのこと。今のなんでもある時代になんじゃこりや」と驚き、ペイフォワードを立ち上げてこども食堂を運営している」というお話をしました。その時は、「大変なことやねんな」と思うだけでしたが、会議後に三木市子育て支援課長との出会いがあり、三木市でもこども食堂を実現することについて話が進みました。そして、2021年1月に中央公民館で《こども食堂NPOみんなの城》を立ち上げることができました。

## ★時間割

当子ども食堂の活動内容は、16時から宿題の時間、18時から食事の時間、19時から遊びの時間です。



## ★参加者

《こども食堂NPOみんなの城》は、2021年4月にスタートしたものの、1週目0人、2週目0人、3週目0人と全く利用がありませんでした。

「このままじゃやっている意味がない」と思ふ三樹小学校PTAの役員会に飛び入り参加させてもらい、説明の機会をもらいました。

私の想いは次のとおりです。

- ・私たちの世代で子どもがご飯を食べられないなんて状況はなくしたい。
- ・子どもたちから信用してもらえる大人になりたい。
- ・お腹いっぱい、元気な、笑顔の絶えない子どもたちになってほしい。

令和3年4月10日～開催決定！

## 毎週土曜日OPEN!

仕事が忙しく子どもの夕食をつくる時間がない  
やむをえず子ども達だけごはんをたべている  
そんな子どもたちに大勢でたのしい食事の場を提供します！

|  |                                 |
|--|---------------------------------|
|  | 開店日：毎週土曜日 17:00～20:00 夕食は18:00～ |
|  | 対象： 幼保・小学生                      |
|  | 場所： 三木中央公民館（三木市本町2丁目2番10号）      |
|  | 参加費： 小人300円 大人500円              |

参加をご希望の方は申込書にご記入をおねがいいたします

# しろ 城》の取組

NPOみんなの城 五百蔵 潤

「弱い立場の子どもたちに手をさし延べられますよう、皆さまのご協力をよろしくお願いいいたします」とお願ひしました。

それ以降は、PTA役員の皆さまのご協力によりチラシを配布していただきたりして参加人数も増え、平均30人が来ています。《みんなの城》が知られるようになると、市内の多くの校区からも来るようになりました。



## ★食材のご協力に感謝

食材の提供については、大変多くの企業や個人の皆さまからご協力をいただいています。おかげをもちまして食堂の運営が成り立っており、大変感謝しています。プロゴルファーの方から優勝賞品のパックご飯1年分をご寄付いただいたこともございました。紙面をお借りして皆さまに心よりお礼申し上げます。



## ★たったひとつのルール

《みんなの城》には決まり事がひとつだけあります。来たときは「ただいま」帰るときは「行ってきます」とあいさつすることです。ここが子どもたちの居場所になれればという思いを込めています。

## ★子どもたちについて

自分の食事を誰かにとられないようにしながら食べる子どももいました。また、すごい食欲を見せる子どももいました。

様々な家庭環境の子どもたちが、大勢で食卓を囲んで幸せそうに食事をする様子や笑顔が見られるのは、こども食堂を運営して何よりの喜びを感じる瞬間です。

## ★これから

はじめは、この食堂を「やってやっているんだ」との気持ちをもっていました。しかし、自分の貧しかった幼少期を振り返ると、「あの時こんな食堂があったら絶対毎週来ていました」との思いに至りました。それ以来、「させていただいている」という意識で取り組むようになりました。

そして、このこども食堂について、子どもたちに「おっちゃん、10年やるからね」と約束しました。「みんなが大きくなって、高校生になったら帰っておいで。今度はあなたたちが子どもたちに勉強を教えるんだよ」そんなことを期待して10年間頑張ってみたいと思っています。



# ひろしま　た 広島に立つ



こんどうこうこ  
近藤紘子

ひばくたいけんしゃ  
被爆体験者

1945年8月6日午前8時15分原爆投下、一瞬にして広島の町は廃墟と化し、生後8ヶ月の私は、爆心地から1.1kmの広島流川教会の牧師館で下敷きになりましたが、母に抱かれて生き残りました。それ以降、爆心地から800mの外壁だけとなった教会には、一人また一人と生き残った人々が来られました。私はその方々から悲しみ、苦しみと同時に生き残った無念さ、後悔の念をお聞きして、人々の人生を変えた原子爆弾や戦争の恐ろしさを心に刻みつけながら育ちました。

留学経験のある父は、戦後すぐに被爆した広島を伝えるために米国に何度も講演旅行をし、「ヒロシマの真実」を伝えてきました。その結果、孤児となった子どもたちを米国の一般家庭の人たちが文通を通して精神的に支える運動「精神養子縁組」、そして火傷を負った若い女性たちのための治療運動「原爆乙女」を立ち上げました。

そのお姉さんたちに可愛がられていた私は、彼女たちが一つの爆弾により、火傷をおったことを知りました。幼少期の私は、悪いのはあの原爆投下したB29「エノラ・ゲイ号」の乗組員たちで、彼らさえ爆弾を落とさなければ、多くの人たちが死ぬことも、原爆症に苦しむこともなかったと考えていました。いつの日か私が大人になった時、あの乗組員たちを捜し出し、この私の手で敵を討とうと決めました。この気持ちを親に知られたら否定されると思い、心の中にしました。

しかし、その「敵」との出会いは意外と早く訪れました。被爆10年後(1955年)、広島で火傷を負ったお姉さんたちは、米国での治療のため、父に伴われ渡米しました。その翌日、父は急きょ、米国のテレビ局の「This Is Your Life(これはあなたの人一生だ)」という番組に出ることが決まり、母と私たち弟妹も渡米することになりました。そして、その番組で広島に原爆を落としたB29エノラ・ゲイ号の副操縦士キャプテン・ロバート・ルイス氏(Captain Robert Lewis)との出会いが私の考えを変えました。

10歳の私は、あなたたちさえあの爆弾を投下しなければ、多くの人たちが死ぬことも苦しむこともなかつたという思いで彼を睨み付けました。

しかし、「午前8時15分爆弾投下。すぐ飛び去り、再び落とした爆弾の威力を見るために広島上空に戻ると、広島が消えていた。飛行日誌に、『My God, what have we done?』(おお、神よ、私たちはなんということをしてしまったのか?)と書きました」と、声を詰まらせながら語った彼の目から涙があふれ落ちるのを見た私は、今の今まで鬼だと思っていたこの人は後悔の涙を流している。鬼ではなく、同じ人間だ。心の中であの人たちが悪い人、私は良い人だと信じていたが、そうではないということがわかり、『私が憎むべき人は、この人ではない。戦争を起こす人間の心の中の悪だ』という思いに至りました。



ひろしま　ながれがわきょうかい  
広島流川教会

ルイス氏と出会えたことに感謝し、もし私がこの人に出会わなければ、いつまでも広島の悲しみしか  
心に留めなかつたと思うし、彼の苦しみに思いを馳せることもありませんでした。彼の涙によって私の  
考えは変えられました。私が憎むべきは戦争を起こす人間の心の中の悪であり、戦争とは勝者も敗  
者もないことを学びました。彼は後に、精神を病み、「キノコ雲と涙」の彫刻を残して1983年に亡くな  
りました。

両親の「おまえは町内で生き残ったたつた一人の赤ん坊だから、将来は広島のために、世界平和の  
ために生きてほしい」という言葉に反発していた私は、原爆乙女の治療運動や精神養子縁組等に奔  
走、広島の悲惨さを伝えるために渡米すれば1~2年は帰国せず、帰ってくれば教会復興に奮闘、被  
爆者のことしか考えない父を理解できませんでした。本音では私も他の子ど  
もたちと同様に親に甘えたかった。

あのABCC(原爆傷害調査委員会)に、放射能が人体にどのような影響を与  
えるかを調べるためのモルモット扱いされた中学時代。屈辱感の中で救いを  
求めた私の祈りは聞き届けられなかったと思っていました。

しかし、長い年月の後、父:谷本清の隠退説教を聞いたとき、そのわだかまりが解けました。  
「広島の被爆者のために役に立ちたいという願いは、あの地獄のような焼け野原の中で、『助けてえ  
一』という声を振り切って、家族を案じて彼らを見捨ててしまったというエゴへの悔い。それと家族3人  
無傷で助かったという申し訳なさが、私が広島の被爆者のためにと向かわせた」との言葉に、やっと  
私は父がなぜ広島の被爆者のために心血を注いだのかが理解できたのです。

この告白は父に背を向けて歩んできたこのような私を立ち帰らせ、今、私にできる活動として広島原  
爆を世界に語り続ける支えとなっています。

広島の町に原子爆弾が投下されて、この夏で78年目を迎えるとしています。  
多くの被爆者たちは、私たちの生きている地球から核廃絶を祈り、願い続けてきましたが、残念なが  
ら未だに無くなつてはいません。

いつの時代にあっても、平和をつくり出すことには困難が伴います。でも、私たちは平和をつくり出す  
者とならなければと思います。

広島と長崎の被爆を体験した唯一の被爆国である日本は、世界に向けて核廃絶を呼び続けなければならぬと思います。次の時代を担う子どもたち一人一人が与えられた命を、最後の日まで平  
和に生きていけるように願い、互いに理解し、愛し合い、仕えていくことができるようになると祈ります。

広島の平和公園の慰靈碑に刻まれている言葉「安らかに眠って下さい。過ちは繰返しませぬから」  
は被爆者の祈りであり、誓いの言葉です。一人一人が平和をつ  
くり出していく、「人から人へ」こそ、世界を変えることができると  
信じています。

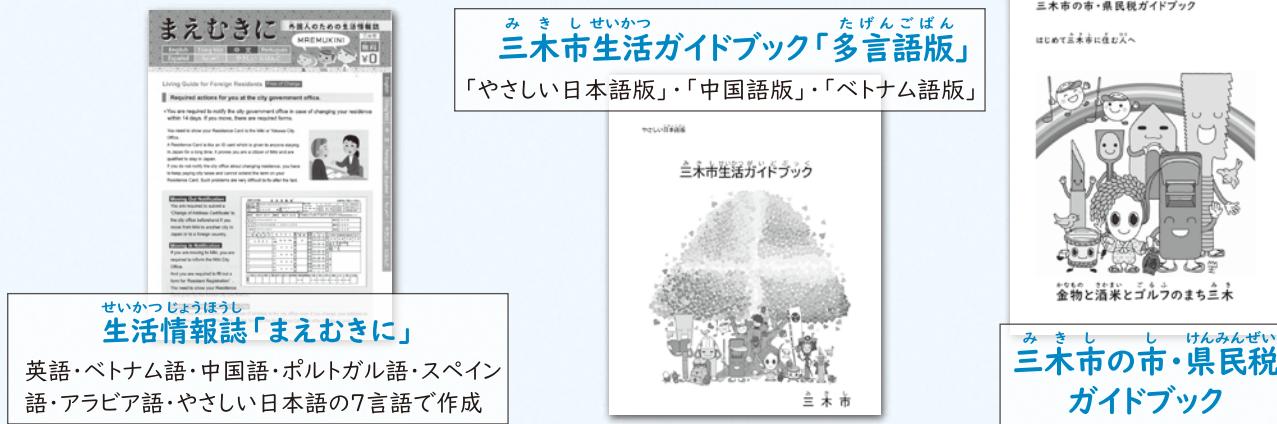
これからも私たちは、心の中の平和と世界の平和を祈り続けて  
いきたいものです。一人でも多くの人が被爆地広島、長崎に行  
き、その地に立つことにより、それぞれの方の心に核のない世界  
を、戦争のない世界をつくりだしていくなければならないと思う  
気持ちが生まれると信じています。次の時代を担う子どもたちに  
平和がありますようにと私は祈り続けていきたいと思います。



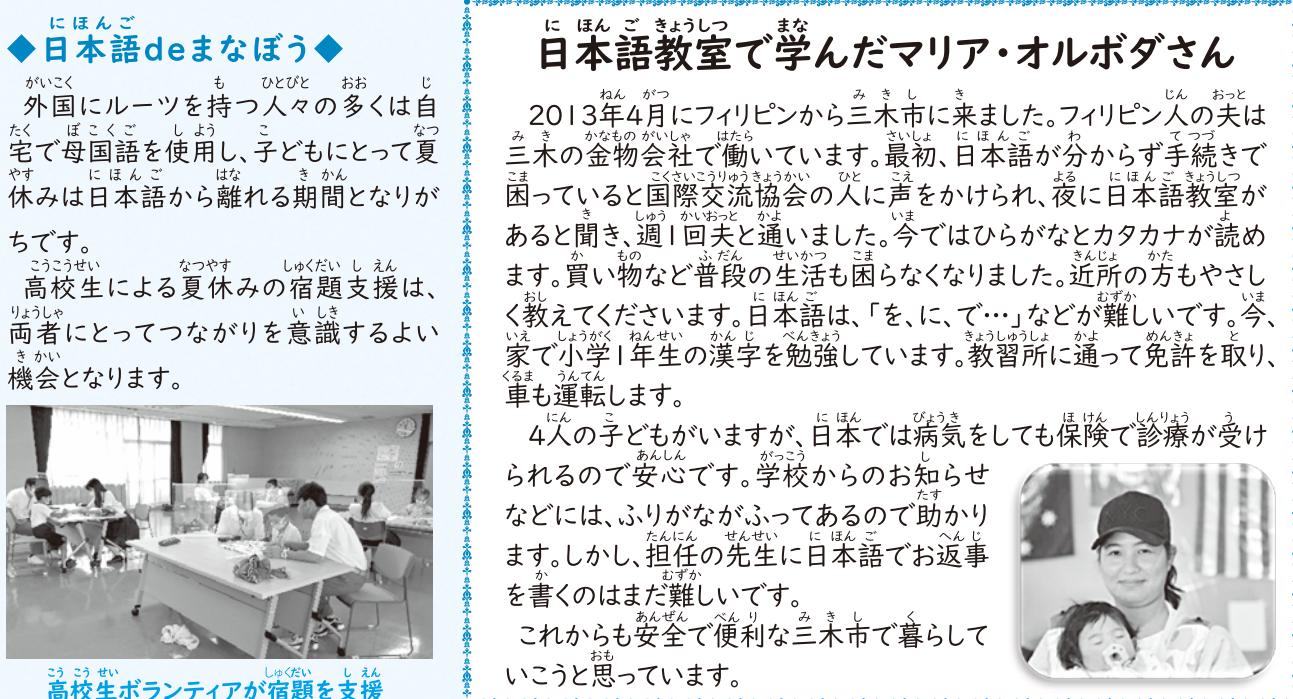


# し えん コミュニケーション支援 ~様々な情報の多言語化~

み き し せ い き ん は ら か た だ か た じ ゆ う み ん て い き う ぎ よ う せ い ち  
三木市では、税金の払い方やごみの出し方など、住民に提供される行政サービスや、地  
域社会で生活するうえで必要となるルールや習慣等について、多言語（やさしい日本語を  
ふく じ ょう ほ う て い き う お こ な 含む）での情報提供を行っています。



## み き し こ く さ い こ う り ゆ う き ょ う か い 三木市国際交流協会(MIA)の活動



こと ば し ゆ う か ん ち が し ょう ま さ つ せ い か つ じ ょう か だ い の こ し み ん  
言葉や習慣の違いから生じる摩擦や生活上の課題を乗り越えるため、すべての市民がお  
た が ぶ ん か か ち か ん た い り か い ふ か み と あ ち い き し ゃ か い す す  
互いの文化や価値観に対する理解を深め、認め合う地域社会づくりを進めましょう。



ありがとうの碑  
(本校前庭)

# ありがとうウイーク

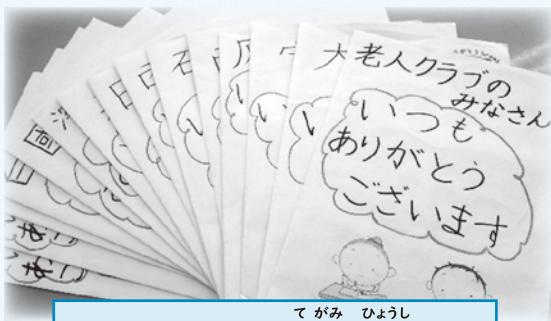
## ～ありがとうをひろめよう～

み き し りつ べっしょ しょう がっ こう  
**三木市立別所小学校**

ほん こう まえ にわ ひやくしゅうねん き ねん  
本校前庭に百周年記念として「ありがとうの碑」があります。裏の碑  
ぶん ひと たが い い  
文に「人は互いに生かし生かされつく、我、人に生かされて生くの  
かん しゃ こころ ひと おも こころ  
感謝の心と、人を思いやるの心をこめて『ありがとう』と銘す。」とあり  
ます。このような周囲の人とのつながりを意識し、感謝や思いやりの心  
はぐく ほん こう がつ  
を育んでいくために、本校では2月に「ありがとうウイーク」として、児  
どう かい ちゅうしん ぜん こう せい じん けん かんが き かん もう  
童会を中心に全校生で人権について考えあう期間を設けています。

### □感謝の気持ちを伝えよう

み まわ せ わ ひと  
身の周りでお世話になった人にありがとうの気持ちを込めて全校生が「ありがとうカード」を  
か 書き、「ありがとうの木」にはり出して、オープンスクールにおいて地域や保護者の方に思いを  
つた とく がつ こう せ わ ろう じん どう かた がた て がみ  
伝えました。特に学校でお世話になった老人クラブ等の方々へは「ありがとうの手紙」にしてお  
わた 渡しました。



「ありがとうの手紙」表紙



「ありがとうの木」

### □児童有志で作成した音読劇からの学び

さい ご じ どう ゆう し さく せい おん どく げき まな  
最後に、児童有志で1ヶ月かけて制作準備をした音読劇「ないた赤おに」を道徳の時間に  
し ちょう ゆう ジょう たい せつ ぜん こう まな あ こ どく しゅ じん こう あか こころ よ かん そう  
視聴し、友情の大切さを全校で学び合いました。孤独な主人公「赤おに」に心を寄せる感想や  
あか はげ は とお じつ せん とお じつ さい せい かつ こと ば こ つか ひと ひと  
「赤おに」を励ますメッセージが手紙で表現され、全校で交流しました。

この実践を通して、実際の生活で「ありがとう」という言葉を子どもたちが使うことで、人と人  
あ あたた がつ こう じゅう つ こと ば こ つか ひと ひと  
がつながり合う温かさに学校中が包まれました。そして、相手の立場に立ってその気持ちを考  
えることの大切さに気づくことができる一週間となりました。



しちょうご どうとく じゅぎょう  
視聴後の道徳の授業



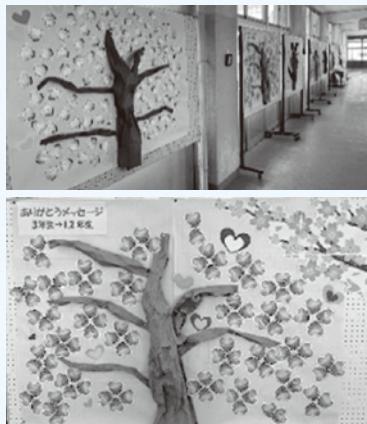
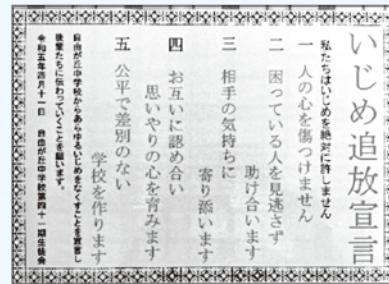
き だいし さくせい じ どう  
「ありがとうの木」の台紙を作製する児童

みずか まな ちから そだ じぶん たいせつ あいて じんかく そんちょう  
**自ら学ぶ力を育て、自分を大切にし、相手の人格を尊重し、  
 共に成長していこうとする生徒の育成**

みき しりつ じゆう おか ちゅう がっこう  
**三木市立自由が丘中学校**

せいと かいかつどう とりくみ ついほうせんげん  
**□生徒会活動の取組「いじめ追放宣言」**

まいとし 新年度最初の全校集会で、生徒会より全校生に向けて「いじめ追放宣言」を行っています。その内容は「いじめをなくす気持ちをもってほしい」と生徒会が呼びかけ、宣言は「私たちはいじめを絶対に許しません」という言葉から始まり、人の心を傷つけません、困っている人を見逃さず助け合いますなど全5項目からなっています。「いじめがあると、良い学校とはいえない。宣言に書いていることをみんなで守り、実行したい」と生徒会長・副会長が呼びかけた後、いじめ追放宣言を各学年の代表に手渡し、それを各教室に掲示して日々意識させていきます。



とりくみ  
**□「ありがとうメッセージ」の取組**

年度末に、友だち、親、先輩、後輩、先生、自分の身の回りの人たちへ感謝のメッセージを書き、廊下前に掲示しました。また、放送委員により、放送でメッセージを伝える取組も行いました。感謝のメッセージを書くことで感謝の気持ちを育むとともに、自己に関わる様々な存在のありがたみを客観的に捉えることができる良い機会となりました。

ふくし がくしゅう たいけん かつどう とう まな とりくみ  
**□福祉学習～体験活動を通して学ぶ取組～**

たいけん  
**○アイマスク体験**

ふたりひとくみ かたほう しきい  
 二人一組となって片方がアイマスクで視界を遮って視覚障がい者の役、もう一人が介助役を行い、学校周辺を歩きました。介助役の生徒たちは、目の見えない人が安心して行動できるようになるためには、どんなことに配慮していくべきかを試行錯誤しながら行うことができました。

きょうりょく かつどう  
**協力:ボランタリー活動プラザみき(83-0090)**

しゅわこうざ  
**○手話講座**

こうしほね みみき ひとく  
 ろう講師を招き、「耳が聞こえないとはどういうことか」「耳が聞こえない人の暮らし、ろう講師の体験談」「手話等、聴覚障がい者とのコミュニケーションについて」講演や体験活動を行いました。

きょうりょく みきしけんこうふくしぶ  
**協力:三木市健康福祉部**  
 しようがいふくしか  
**障害福祉課(82-2000)**

じんけんけいはつ しようかい  
**人権啓発DVDの紹介**

**バースデイ**



**あらすじ**

羽野美由紀は、20歳になる娘の笑花が“女らしい”振舞いをしないことが不満だった。笑花は誕生日の夜、自分がトランスジェンダー男性（自認する性が男性）であることを両親に打ち明ける。性別違和ゆえに小さい頃からずっと辛かったこと、将来は手術もしたいと考えていること、そして、これからは名前を「尊」に変えて生きていくことを意を決して告げる笑花。突然のカミングアウトに動搖する美由紀たち。尊（以降は表記を「尊」に統一）の気持ちを受け止めることができない美由紀は、翌日から尊を避けるようになる。

上司の玉木や同僚からの理解もあり、職場では自分らしく働ける尊。一方、誰にも相談できずに悩んでいた美由紀は、何かを抱えていることを同僚の祐奈に見透かされ、友達の娘がということにして相談し少し気持ちが軽くなる。

数日後、先輩が、尊のことをアウティング（本人の性の在り方を同意なく第三者に暴露）してしまう。不安と恐怖から早退する尊。ただ事ではない様子で帰宅してきた尊を見た美由紀は、心配ゆえに、女性のままでいるように懇願し、かえって尊を傷つけてしまう。尊は家を飛び出していく。  
上司の玉木の協力もあって、尊は無事に見つかり、安心する美由紀。そして、玉木や祐奈の考え方に対する觸れ美由紀は、次第に自分の心と向き合っていく…。

(公財)兵庫県人権啓発協会「バースデイ」リーフレットから転載

「誰もが幸せになることを願って」

人権啓発DVD“バースデイ”は、性的指向上の「LGBT」について取り上げた作品です。「LGBTって何?」「私には関係ない」と思われているかも知れませんが、性的マイノリティの方の割合は、約1人に1人（※1）と言われています。身体の性と心の性の違いにより、トイレや制服に違和感を持っていたり、理解されないことで、いじめやハラスメントの被害を受けたりして、誰にも相談できず悩みを抱えている事例も多くあります。わたしたちは、誰もが幸せになることを願っています。自らの望む生き方を選べる社会について、この作品を通して考えていただければと思います。（※1出典：電通ダイバーシティ・ラボHPより）

さいきんこうにゅうきょうざい  
**最近購入の教材**

|                           |
|---------------------------|
| 映像で学ぶ部落差別解消推進法            |
| 性の多様性とLGBTQ+              |
| 知りたいあなたのこと3（聴覚障害）         |
| よかつたら”想い”を聴かせて            |
| 水平社を立ち上げた人々 -人間は尊敬すべきものだ- |

※ 人権啓発に活用される団体に無料で貸し出します。詳しくは下記までお問い合わせください。  
問合せ先：三木市人権推進課 Tel82-8388 fax 82-8658

じんけんすいしんか  
**人権推進課DVD一覧リンク**





## みきしじんけんそんちょう 三木市人権尊重のまちづくり条例

### 前文

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等であり、個人として尊重され、基本的人権の享有が保障されなければならない。

しかし、現実社会においては同和問題、女性、子供、高齢者、障害者、在日外国人等、人権に関する問題が存在しており、その解決に向けた積極的な取組が強く求められている。

眞に一人一人の人権が尊重される明るく住みよい社会をつくるためには、私たち一人一人が、人権に関する問題を共に考え、理解し、その解決のために協力し合うことが何よりも重要であり、そのことが「人権という普遍的文化」の更なる進展につながるものであると思料する。

よって、私たち三木市民は、世界人権宣言及び日本国憲法の理念の下、すべての人の人権が尊重され、明るく住みよいまち、三木市をつくるため、この条例を制定する。

### 第1条（目的）

この条例は、あらゆる人権に関する問題の解決への取組を推進し、人権が尊重される明るく住みよい社会の実現を図ることを目的とする。

### 第2条（市と市民の役割）

- 三木市は、市民一人一人の権利が尊重される社会の実現を目指し、効果的な人権教育と人権啓発の推進を図るとともに、人権尊重に関する施策を積極的に推進する。
- 市民は、相互に基本的人権を尊重するとともに、自らが人権尊重のまちづくりの担い手であることを認識し、人権意識の向上に努める。

（以下省略）

（平成13年1月1日施行）

- \*尊厳…尊く、厳かで侵してはならないこと。  
\*享有…（権利などを）生まれながらに持っていること。  
\*普遍的…（地域や国境を越えて）広くゆき渡ること。  
\*思料…考えること。

## ふるまとに生きる Vol. 33

=みんなでつくる人権尊重のまち=

- 編集 三木市・三市教育委員会  
人権問題啓発資料作成委員会  
発行 令和5年7月  
三木市・三市教育委員会  
お問い合わせ 三木市立総合隣保館  
TEL.(0794-82-8388)

### 令和5年度

人権問題啓発資料作成委員会

#### 委員

- 西本 公仁（人権関係団体）  
五百蔵 潤（NPOみんなの城）  
野田 浩穂（三木市立別所小学校）  
山根 由香（三木市立自由が丘中学校）  
澤田 薫（人権教育指導専門員）

#### 事務局

三木市市民生活部 人権推進課  
三市教育委員会教育振興部 学校教育課